

ヌマタネズミイルカ

「沼田町の財産ってなあに？」

この質問にみなさんはどのような答えを返すでしょうか？夜高あんどん？ほろしん温泉？きれいな景色？... それぞれに答えはあると思いますが、実はこれまで町内で発見されてきた化石も世界に誇れる重要な沼田町の財産のひとつです。

今回は沼田町産化石の価値を、2018年に北海道の天然記念物に登録され、今日もまちの化石事業に大きな影響を与え続けているヌマタネズミイルカをとおしてご紹介いたします！

1. 沼田の化石はネズミイルカから！

1985年、幌新太刀別川の河床において沼田町で初めての大型脊椎動物の化石が発見されました。この化石こそが発見から15年後の2000年に学術論文で新属新種として発表され、のちの「ヌマタネズミイルカ」です。野外で発掘された際に全身の骨がほぼ完全に揃っており保存状態が大変良好だったため、発表時から世界中の研究者の注目を浴びました。

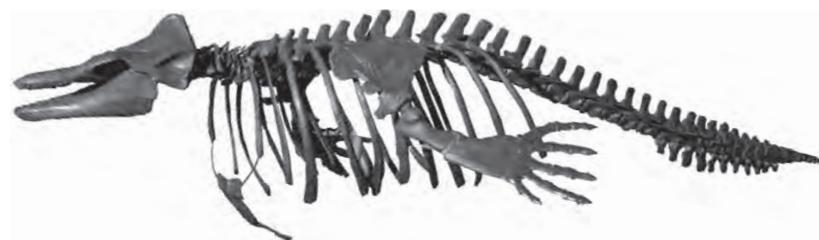
ヌマタネズミイルカの発見を機に沼田町では毎年幌新太刀別川で化石の発掘調査が行われるようになり、化石体験館で展示されているセイウチの仲間やヌマタナガスクジラなどの化石が発見されました。

現在でも幌新太刀別川では化石体験館のイベントのひとつである化石採取会が行われており、参加者の方々によって次なる貴重な化石が発見される日を待ち続けています。

2. 進歩し続けるヌマタネズミイルカ

ヌマタネズミイルカは2000年の発表以降、2016年には当時沼田町化石館の学芸員であった田中嘉弘博士と、ヌマタネズミイルカの命名者である福井県立恐竜博物館の学芸員・一島啓人博士により、詳細な生態（生きているときの暮らし方）を解明する研究が行われました。加えて、2019年からは最新の学説を取り入れた新たな全身骨格模型を製作するプロジェクトが沼田町で進行しています。

監修に一島啓人博士をお迎えし、世界で最も精巧で正確な全身骨格の完成にむけて、町民会館内のレプリカ工房にてスタッフが日々作業を行っています。ヌマタネズミイルカは研究者により研究が進められているだけでなく、その姿も日々進歩しています。新たな全身骨格の公開をお楽しみに！



◀ 新たに復元を行うヌマタネズミイルカの化石レプリカ

▲ ヌマタネズミイルカの情報満載「化石先生は夢を掘る」名誉館長木村方一著
※図書館で借りられます



お問い合わせ … 沼田町教育委員会（電話 35-2132）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>

